

ふでがさき  
筆ヶ崎古墳群（第2次）

所在地：四日市市小牧町

遺跡への経路：東洋ゴム工業桑名工場が目印です。国道365号員弁バイパスを、朝明川にかかる新小牧橋から1.2kmほど北方向へ進み、長深東の交差点を東へ曲がります。そこから500mほど直進し、東洋ゴム工業桑名工場に達したところの南側です。

位置情報URL：

<http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=256&ll=35.04988657407407,136.5847175141243>

調査の種類：本調査

調査原因：新名神高速道路（四日市JCT～亀山西JCT）建設事業

調査期間：平成23年9月20日～平成24年1月24日

調査面積：750㎡

主な遺物：須恵器・土師器・金環・土錘・鉄滓・鉄製品など

主な遺構：横穴式石室、竪穴住居、土坑

コメント：第2次調査は終了しました。1・2号墳の横穴式石室の構造や、造られた時期（7世紀前半）などが判明し、これまで内容がよく分かっていなかった筆ヶ崎古墳群の様子を知るための手がかりが得られました。

また、奈良時代の鍛冶炉をもつ竪穴住居が見つかったことも、この地域における古代の生産活動について考える上で大きな成果といえます。

筆ヶ崎古墳群では今後も発掘調査が行われる予定です。新たな成果にご期待下さい。

問い合わせ先：

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1

三重県埋蔵文化財センター 調査研究 課 四日市整理所

担当：中村・石井

電話番号：059-363-3195 / ファックス：059-363-3196

e-mail：[maibun@pref.mie.jp](mailto:maibun@pref.mie.jp)



調査区の様子



鍛冶炉をもつ竪穴住居